

特別展

光と風



いっしょにたかまみちが
ゆきまをこぼれゆくを見たいよ
風は吹かたてただしゅうもさまで
旅する旅がうれいにならな
人間だとしても
心西女なもみ
ただひとつ
私も
余分なもみ
捨てれば
穴がとべる
気がしたよ



2023.2.28(火)～5.28(日)

開館時間：午前9時～午後5時（最終入館午後4時30分）

休館日：3月末までの月曜日。会期後の5月29日(月)は展示替えによる臨時休館。

※休館日は都合により変更になることがあります。

入館料：大人520円、小人310円、幼児無料

※団体20名以上2割引、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名5割引

富弘美術館
Tomihiro Art Museum

やさしさにいつでも逢える

退院して東村（現みどり市東町）へ帰った星野富弘は、故郷の春をこう語っています。
 「長かった病院生活の後に迎えたふるさとの春は格別である。縁側に陽があたり、洗たく物がやさしくゆれる下で、ねこが柱をひっかいている。時間をかけてゆっくりと自然にとけこみ、ついに平凡という極みにまで達した美しさが、毎日惜しげもなく目の前を通り過ぎていく——」（『風の旅』『帰郷』）

山間を通り抜ける風があたたかくなると、ひっそりとしていた山々は一斉に芽吹き、花を咲かせます。足元にはフキノトウやフクジュソウ、たんぽぽ、すみれ、目を上げると梅や桜が咲き、鳥たちはさえずり、春の訪れを伝えます。光をうけて輝く花たち、風にゆれる野の草たち。星野の春の作品は、湧き上がる喜びをよりいっそう感じさせます。

本展では、春の代表作品や近作を含む約80点を展示しています。ぜひ、ご覧ください。



「ぼけの花」1986年



「サイネリア」1989年



「ポピー」1997年



星野 富弘 (ほしの とみひろ)

1946年、群馬県勢多郡東村（現みどり市東町）に生まれる。群馬大学教育学部卒業後、中学校の教諭になるが、クラブ活動の指導中に頸髄を損傷、手足の自由を失う。入院中、口に筆をくわえて文字や絵をかきはじめる。1982年高崎で初の「花の詩画展」を開催以降、全国各地、また海外でも開催され、現在も続いている。1991年、群馬県東村に富弘美術館開館。現在も詩画やエッセイの創作活動を継続中。著書多数。

開催中のイベント

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記イベントが中止になる場合があります。美術館ホームページをご覧ください。TEL0277-95-6333

4/8(土) 季節の朗読会(要入館料)

①午前11時30分～ ②午後1時30分～ 朗読：Lively

4/15(土)・5/20(土) 折り紙教室・缶バッジづくり(要入館料)

午後1時30分～午後3時30分 指導：サポーター

4/15(土)・5/13(土) ギャラリートーク

午後2時～(約20分間) 当館学芸員

4/16(日)・4/23(日) 鈴の鳴る道を歩こう(要予約)

午後1時～(約2時間) 神戸駅集合 案内：サポーター

4/22(土)(※①のみ)・5/27(土) 定期朗読会(要入館料)

①午前11時30分～ ②午後1時30分～ 朗読：泉の会

4/22(土) ヴェネツィアンピースを使ってアクセサリづくり(要予約)

午後1時30分～(約2時間) 講師：鷺見理恵

4/29(土・祝) きみつ少年少女合唱団コンサート(要入館料)

午後2時～

5/5(金・祝) こどもの日ワークショップ～紙かぶとをつくらう～(要入館料)

午後1時30分～午後3時30分 指導：サポーター

5/14(日) 母の日コンサート(要入館料)

午後1時30分～ 合唱：東雲コーラス

5/20(土)・5/21(日) 春のお茶会(要入館料)

午前10時～午後3時 呈茶：NPO法人 茶道無償会

次回展覧会のご案内

特別展「月にうさぎがいた頃のこと」

5月30日(火)～8月27日(日) ※8月28日(月)は展示替えのため休館します。

交通案内

北関東自動車道 太田藪塚I.C.より55分
 関越自動車道 赤城I.C.より1時間20分
 日光宇都宮道路 清滝I.C.より40分
 わたらせ渓谷鐵道 神戸駅下車、市営バスで10分



富弘 美術館
 Tomihiko Art Museum
 やさしきにいつでも逢える

〒376-0302 群馬県みどり市東町草木 86
 TEL.0277-95-6333 FAX.0277-95-6100
 URL. <https://www.city.midori.gunma.jp/tomihiro/>
 E-mail. info@tomihiro.jp

美術館ホームページ

